

## 磐梯山の火山活動解説資料（平成 24 年 6 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

25 日 05 時 22 分頃に火山性微動が観測されましたが、その前後で火山性地震は観測されず、地殻変動観測、遠望カメラによる観測で特段の変化は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラでは、山体北側火口壁からの噴気の高さは 100m 以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

#### ・地震や微動の発生状況（図 4～5）

25 日 05 時 22 分頃に、継続時間約 45 秒の火山性微動を観測しました。火山性微動を観測したのは 2009 年 6 月 9 日以来です。

火山性微動の前後で火山性地震は観測されず、傾斜計や GPS による地殻変動観測、遠望カメラによる観測で特段の変化は認められませんでした。

火山性地震は少ない状況が続いています。

#### ・地殻変動の状況（図 6～7）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

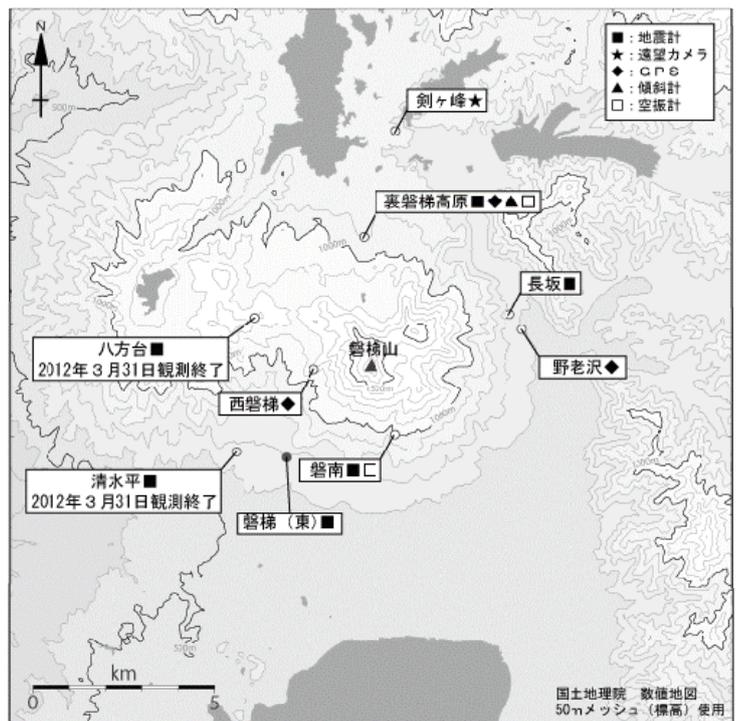


図 1 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 7 月分）は平成 24 年 8 月 7 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



図 2 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状態（6月13日04時00分頃）

- ・ 剣ヶ峰（山頂の北約7km）に設置してある遠望カメラによる。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは100m。



図 3 磐梯山 月最大噴気高（1996年4月～2012年6月）

- ・ 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さです。
- ・ 2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

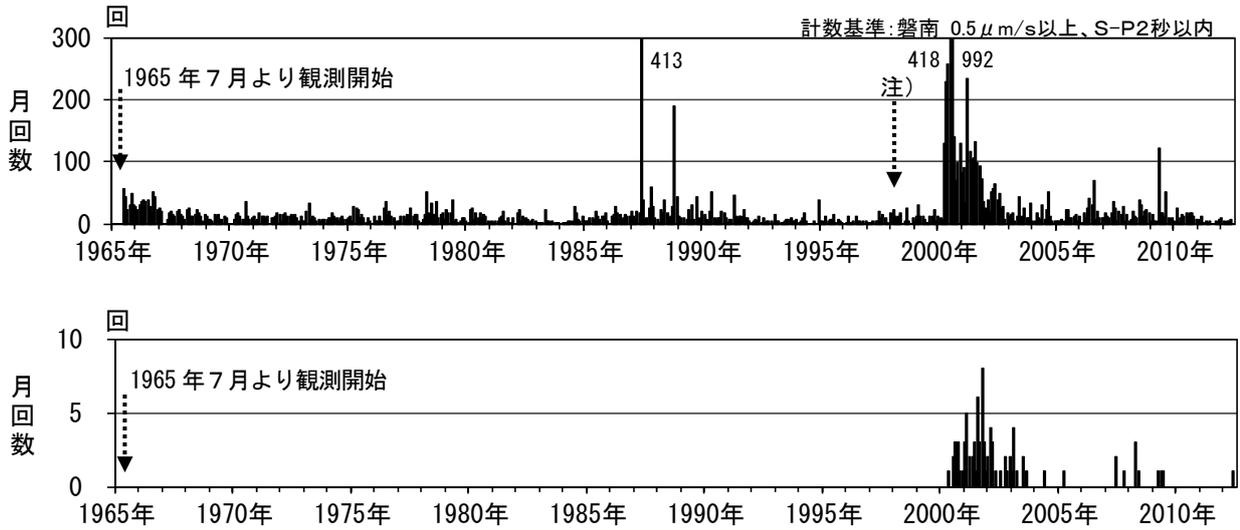


図 4\* 磐梯山 上段：月別地震回数(1965 年 7 月～2012 年 6 月)  
 下段：月別微動回数(1965 年 7 月～2012 年 6 月)  
 注) 1998 年より計数基準を S-P5 秒以下から S-P2 秒以下に変更しました。

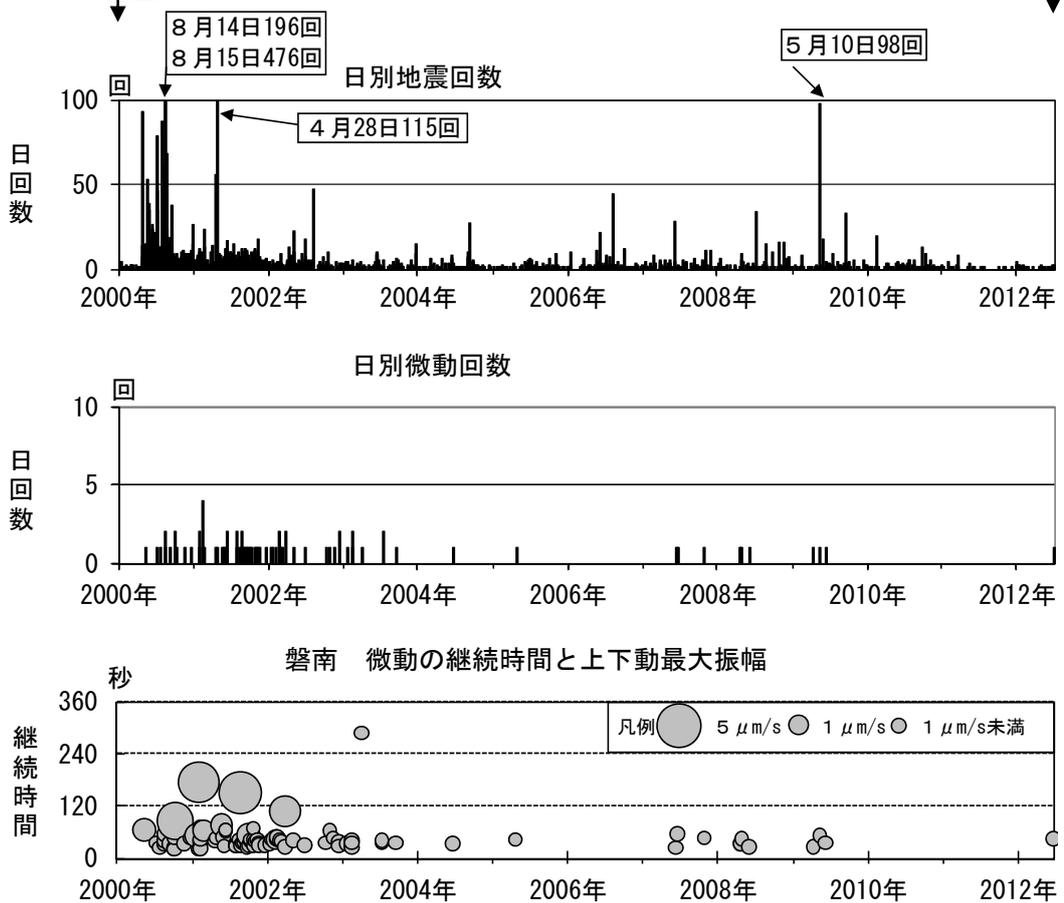


図 5\* 磐梯山 最近の地震と微動の活動経過図（2000 年 1 月～2012 年 6 月）

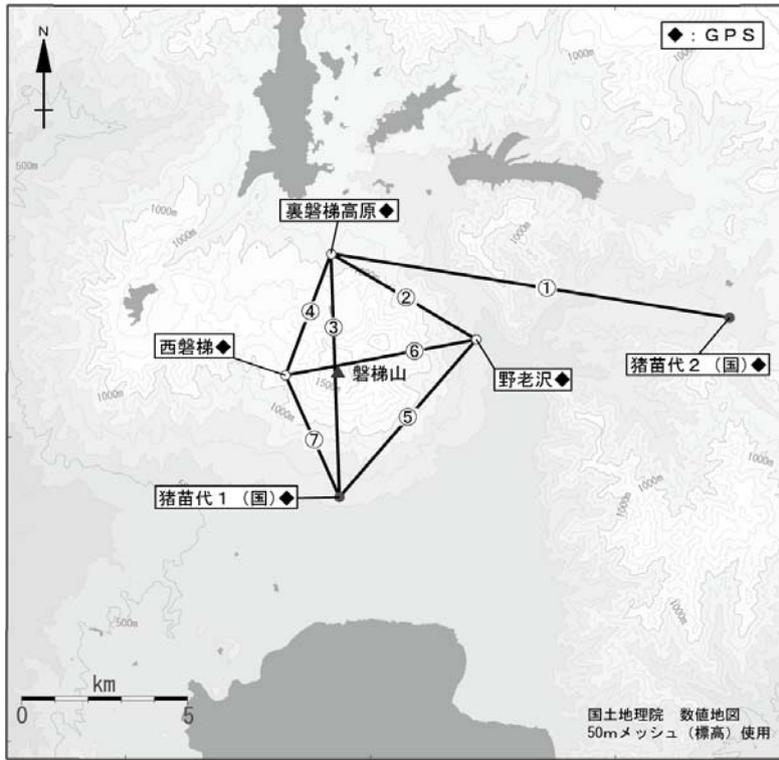


図6 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。(国) : 国土地理院  
GPS 基線①～⑦は図7の①～⑦に対応しています。

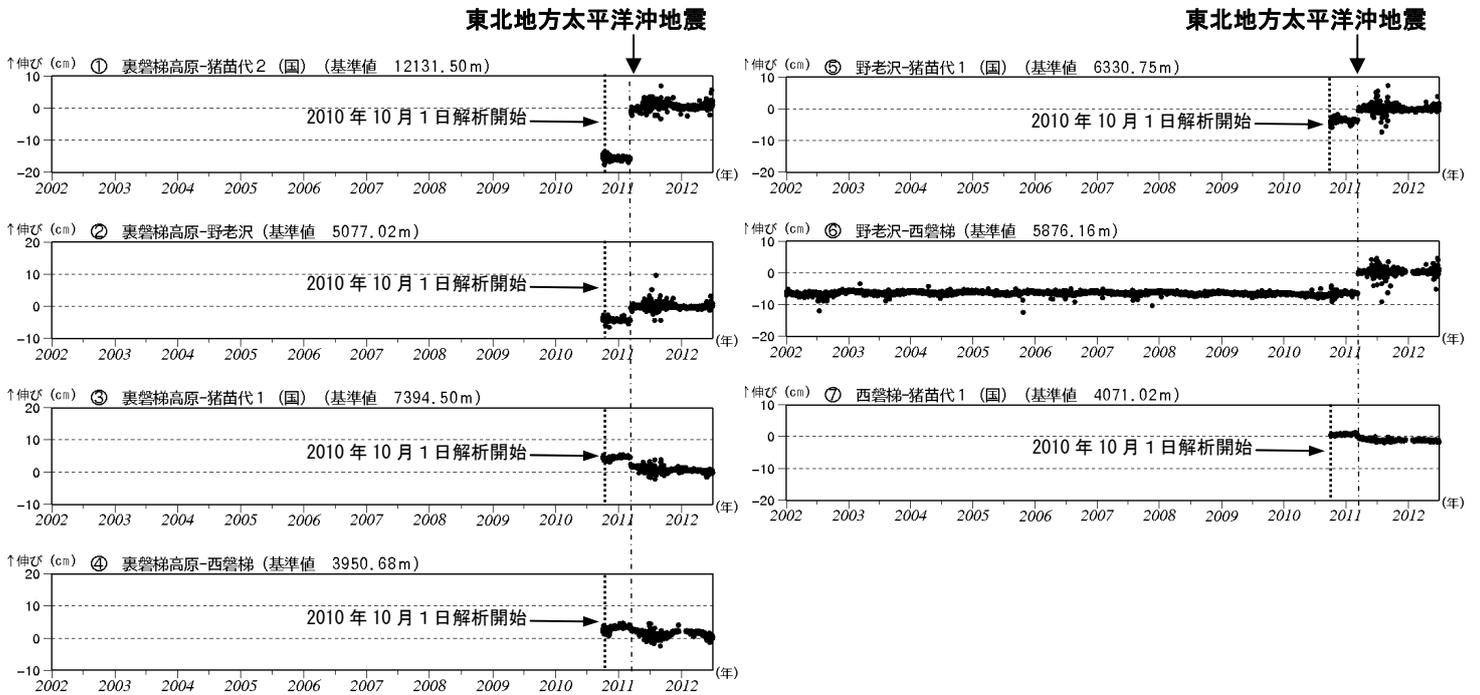


図7 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002年1月～2012年6月)

- ・ 2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ ①～⑦は図6のGPS基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。